

問1 球関節はどれか。

1. 椎間関節
2. 肩関節
3. 仙腸関節
4. 橈尺関節

問2 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 頸椎は、12個である。
2. 下腿にある2本の長骨のうち、内側にある太い方を脛骨という。
3. 上腕二頭筋は、肘関節を屈曲させる。
4. 腸腰筋は、大腿を前方に挙上（屈曲）させる。

問3 次のうち、正しいのはどれか。

1. 副鼻腔は、鼻腔と交通しない。
2. 左の気管支は、右に比べて短く太い。
3. 横隔膜は、吸息時に収縮する。
4. 肺で酸素と一酸化炭素の交換が行われる。

問4 次のうち、正しいのはどれか。

1. 心電図のP波は、心室の興奮を反映する。
2. 血液は、右心室から出る大動脈によって全身に送られる。
3. 成人の安静時における心拍数は、通常、約100回/分である。
4. 肺静脈は、動脈血が流れる。

問5 次のうち、正しいのはどれか。

1. 結腸の内壁に絨毛はない。
2. 大腸の全長は、6～7mである。
3. 女性の直腸は、子宮と膣の前に位置する。
4. 摂取した食物は、通常、食後約5時間で直腸に到達する。

問6 次のうち、正しいのはどれか。

1. グルカゴンは、膵島のB（ β ）細胞から分泌される。
2. 成長ホルモンは、下垂体後葉から分泌される。
3. プロラクチンは、乳汁成分の産生を促進する。
4. 甲状腺ホルモンは、基礎代謝を低下させる。

問7 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 小脳が障害されると、運動の円滑さが失われる。
2. 運動性言語野（ブローカ野）が障害されると、言葉が理解できなくなる。
3. 延髄と橋には、生命維持の中核がある。
4. 顔面神経は、表情筋の運動をつかさどる。

問8 次のうち、正しいのはどれか。

1. 成人の赤血球は、脾臓で作られる。
2. 赤血球の寿命は、約7日である。
3. 白血球は、通常、炎症性疾患で減少する。
4. 血小板は、血液凝固に重要な役割を果たす。

問9 次のうち、正しいのはどれか。

1. 腎臓は、腹膜腔内にある。
2. 標準的な成人男性の1日の尿量は、3～5Lである。
3. 標準的な成人男性の体液は、体重のおよそ60%を占める。
4. 肥満者は、体重に占める体液の割合が高い。

問10 次のうち、誤っているのはどれか。

1. たんぱく質は、アミノ酸で構成される。
2. でんぷんは、ブドウ糖が多数結合したものである。
3. 食物繊維は、人の消化酵素では消化されない。
4. 不飽和脂肪酸は、血中コレステロールを上昇させる。

問11 飽和脂肪酸はどれか。

1. リノール酸
2. オレイン酸
3. パルミチン酸
4. エイコサペンタエン酸 (EPA)

問12 動脈硬化性疾患予防のための食事について、正しいのはどれか。

1. 肥満者は、エネルギーの摂取量を増やす。
2. 魚類（とくに青身魚）の摂取を減らす。
3. 食物繊維の摂取を増やす。
4. 食塩の摂取は、1日10g未満を目標とする。

問13 抗悪性腫瘍薬について、誤っているのはどれか。

1. 多剤併用することがある。
2. 一部の抗悪性腫瘍薬は、自己免疫疾患の治療に用いられる。
3. 副作用のうち、骨髄抑制が起こりやすい時期は、投与直後である。
4. シスプラチンを投与する場合は、腎障害の出現に注意する。

問14 消毒薬について、正しいものの組合せはどれか。

- a. エタノールは、40～50%の濃度で使用する。
- b. グルタルアルデヒドは、注射部位の消毒に用いられる。
- c. 次亜塩素酸ナトリウムは、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に有効である。
- d. ポビドンヨードは、手指や手術野の皮膚消毒に用いられる。

1. aとb
2. aとc
3. bとd
4. cとd

問 15 抗てんかん薬はどれか。

1. フェンタニル
2. ジルチアゼム
3. フェノバルビタール
4. フロセミド

問 16 染色体の異常によるものでないのはどれか。

1. ダウン症候群
2. クラインフェルター症候群
3. ターナー症候群
4. ギラン・バレー症候群

問 17 炎症の5徴候でないのはどれか。

1. 発赤
2. 腫脹
3. 皮下出血
4. 疼痛

問 18 次のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 病理解剖は、亡くなった患者の死因の解明や治療の評価のために行う。
- b. 術中迅速診断は、手術後に治療方針を検討するために行う。
- c. 組織診で用いる組織標本は、ホルマリンで固定し自己融解を止める。
- d. 剥離・擦過細胞診は、甲状腺や乳腺などの深い場所にある臓器に対して行う。

1. aとb
2. aとc
3. bとd
4. cとd

問 19 がんの播種性転移についての説明はどれか。

1. がん細胞が血管内に入り、血流によって他の臓器に運ばれ腫瘍を形成する。
2. 腹腔や胸腔に露出したがん細胞がこぼれ落ちて、他の部位に接着して、腫瘍を形成する。
3. がん細胞が、周囲の組織の間隙に、しみ込むように増殖する。
4. がん細胞がリンパ管の中に入って広がる。

問 20 次のうち、正しいのはどれか。

1. バセドウ病におけるメルゼブルグの三徴は、甲状腺の腫大・眼球の突出・頻脈である。
2. 副甲状腺機能亢進症は、血中カルシウム濃度が低下する。
3. 原発性アルドステロン症は、糖質コルチコイドが過剰に産生される。
4. 褐色細胞腫は、カテコールアミンの分泌が低下する。

問 21 疾患とその原因について、正しい組合せはどれか。

1. 巨赤芽球性貧血（悪性貧血） ———— ビタミンB₁₂の欠乏
2. 閉経後骨粗鬆症 ————— プロゲステロンの低下
3. 胃潰瘍 ————— クロストリジウム・ディフィシルの感染
4. 緑内障 ————— 眼圧の低下

問 22 病原体と主な感染経路について、誤っている組合せはどれか。

1. 日本脳炎ウイルス ————— 昆虫媒介感染
2. インフルエンザウイルス —— 飛沫感染
3. 麻疹ウイルス ————— 空気（飛沫核）感染
4. B型肝炎ウイルス ————— 経口感染

問 23 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 滅菌は、対象物中の微生物の数を減少させることである。
2. 標準予防策（スタンダードプリコーション）は、すべての患者に適用する。
3. 日和見感染は、感染に対する抵抗力が低下した人に起こる。
4. 院内感染を起こしやすい病原微生物には、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MR S A）がある。

問 24 食中毒の原因病原体について、誤っているのはどれか。

1. 黄色ブドウ球菌は、感染型食中毒を起こす。
2. 腸管出血性大腸菌は、ベロ毒素を産生する。
3. ノロウイルスによる食中毒は、カキなどの二枚貝が原因となることがある。
4. アニサキスは、食中毒を起こす寄生虫である。

問 25 次のうち、正しい組合せはどれか。

1. ニュルンベルク綱領 —— 医師による最初の倫理規定
2. ジュネーブ宣言 ————— セカンドオピニオンを求める権利
3. ヘルシンキ宣言 ————— インフォームド・コンセントの確立
4. リスボン宣言 ————— 容認できる人体実験を規定

問 26 「国際看護師協会（I C N）看護師の倫理綱領（2012年版）」の前文に示された看護師の基本的責任について、誤っているのはどれか。

1. 健康の回復
2. 健康の増進
3. 疾病の予防
4. 自立の促進

問 27 次のうち、正しい組合せはどれか。

1. 荷おろしうつ病 ————— 老年期
2. 更年期障害 ————— 老年期
3. 分離不安 ————— 成人期
4. モラトリアム症候群 —— 青年期

問 28 フィンク（Fink, S. L.）による危機モデルの4段階について、正しいのはどれか。

1. 衝撃 → 防衛的退行 → 適応 → 承認
2. 衝撃 → 適応 → 防衛的退行 → 承認
3. 衝撃 → 防衛的退行 → 承認 → 適応
4. 衝撃 → 承認 → 防衛的退行 → 適応

- 問 29 バーンアウトについて、誤っているのはどれか。
1. 極度の身体疲労と感情の枯渇を示す症候群のことである。
 2. 看護職者が心理的に陥りやすい問題である。
 3. ストレスの結果、生じる現象である。
 4. 社会生活の様々な葛藤の回避を仕事で行うことである。
- 問 30 次のうち、正しいのはどれか。
1. 出生率は、人口100人あたりの1年間の出生数で表される。
 2. 合計特殊出生率が2.07を割ると、将来人口が減少すると予測される。
 3. 現在のわが国の人口ピラミッドは、つりがね型である。
 4. 年齢調整死亡率は、人口の高齢化の影響を受ける。
- 問 31 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 保健所の業務は、地域保健法に規定されている。
 2. 1歳6か月児健康診査は、市町村で実施される。
 3. 特定健康診査・特定保健指導の実施は、健康増進法で規定されている。
 4. 精神保健福祉センターは、すべての都道府県に設置されている。
- 問 32 介護保険法について、正しいのはどれか。
1. 要支援者は、介護老人福祉施設を利用できない。
 2. 要介護認定で非該当となった者は、予防給付を受けることができる。
 3. 被保険者は、65歳以上の者である。
 4. すべての被保険者は、介護保険サービスにかかった費用の3割を自己負担する。
- 問 33 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）」について、正しいのはどれか。
1. 歯科材料は、医薬品に含まれる。
 2. メスは、一般医療機器である。
 3. 劇薬は、鍵をかけて保管しなければならない。
 4. 日本薬局方を定めているのは、日本薬剤師会である。
- 問 34 個人に備わっているセルフケアという概念に注目し、理論を構築したのは誰か。
1. オレム (Orem, D. E.)
 2. トラベルビー (Travelbee, J.)
 3. ナイチンゲール (Nightingale, F.)
 4. ヘンダーソン (Henderson, V.)
- 問 35 国際生活機能分類 (ICF) の生活機能でないのはどれか。
1. 心身機能・構造
 2. 活動
 3. 参加
 4. 疾病

- 問 36 次のうち、正しいのはどれか。
1. ニードは、生体の恒常性を維持するしくみのことである。
 2. コーピングは、ストレス状態におかれたときに、精神的な均衡を保とうとする無意識の心の働きである。
 3. ストレスは、なんらかの脅威や負担によって、個体内部に生じる緊張状態のことである。
 4. ホメオスタシスは、人間の行動を起こす内的条件である。
- 問 37 1人の看護師が、患者の入院から退院までの看護を一貫して受け持つ看護方式はどれか。
1. 機能別看護
 2. 混合型看護
 3. チーム・ナーシング
 4. プライマリ・ナーシング
- 問 38 過失事故の分析方法であるSHELモデルの4つの要因でないのはどれか。
1. ソフトウェア
 2. ハードウェア
 3. 社会
 4. 人間
- 問 39 コミュニケーションの種類とその内容について、正しい組合せはどれか。
1. マスコミュニケーション ————— 個人対個人
 2. パーソナルコミュニケーション ——— 一方通行
 3. 言語的コミュニケーション ————— アイコンタクト
 4. 非言語的コミュニケーション ——— 相槌をうつ
- 問 40 観察技術と得られる情報について、誤っている組合せはどれか。
1. 問診 ——— 既往歴
 2. 触診 ——— 鼓音
 3. 視診 ——— 体格
 4. 聴診 ——— 腸蠕動音
- 問 41 看護過程の構成要素のうち、最初に行うのはどれか。
1. 看護問題の明確化
 2. 計画立案
 3. アセスメント
 4. 評価
- 問 42 血圧測定について、正しいのはどれか。
1. マンシェット（ゴム囊）は、上腕の1/3を覆う幅のものを選択する。
 2. 触診法は、拡張期血圧が測定できる。
 3. 減圧の速度は、1拍動につき2mmHg程度に調節する。
 4. 麻痺がある場合は、麻痺側で測定する。

- 問 43 身体各部の計測について、正しいのはどれか。
1. 身長は、踵部を尺柱から離して立ってもらい測定する。
 2. 胸囲は、左右の肩甲骨下角の直下に巻尺を当て、水平になるように胸周囲にまわして測定する。
 3. 腹囲は、吸気の終わりに測定する。
 4. 握力は、肘を曲げた状態で測定する。
- 問 44 病室の環境について、正しいのはどれか。
1. 冬季の至適温度は、23～26℃である。
 2. 湿度は、80%以上に保つ。
 3. 昼間に最低限維持すべき照度は、50ルクスである。
 4. 療養施設のある地域に求められる音環境は、夜間は40デシベル以下である。
- 問 45 ベッドメイキングについて、誤っているのはどれか。
1. マットレスの中心線とシーツの中心線を合わせる。
 2. シーツ類をマットレスの下に入れるときは、手のひらを上にして入れる。
 3. 下シーツをマットレスに折り込むときは、下シーツの角を三角形に折り、入れ込む。
 4. 横シーツは、防水シーツを覆うように敷く。
- 問 46 体位の特徴について、正しいのはどれか。
1. 立位は、重心が低い。
 2. 長座位は、殿部への負荷が小さい。
 3. 仰臥位は、エネルギー消費が多い。
 4. 側臥位は、仰臥位よりも支持基底面が狭い。
- 問 47 車椅子を使用した移送について、誤っているのはどれか。
1. 車椅子を動かす前に、患者が車椅子に深く座っているかを確認する。
 2. 段差を越えるときは、ティップングレバーを踏んで前輪を持ち上げる。
 3. 斜面を下るときは、患者が進行方向を向くように進む。
 4. エレベーターに乗るときは、後ろ向きで乗る。
- 問 48 くしゃみや重い荷物を持ち上げたときに生じる尿失禁はどれか。
1. 切迫性尿失禁
 2. 腹圧性尿失禁
 3. 溢流性尿失禁
 4. 機能的尿失禁
- 問 49 片麻痺患者の病衣（寝衣）交換について、正しいのはどれか。
1. 健側から脱がせ、健側から着せる。
 2. 健側から脱がせ、患側から着せる。
 3. 患側から脱がせ、健側から着せる。
 4. 患側から脱がせ、患側から着せる。

- 問 50 レム睡眠の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 夢をみていることが多い。
 2. 筋緊張の低下がみられる。
 3. 心拍数は安定する。
 4. 急速な眼球運動がみられる。
- 問 51 静脈血の採血について、誤っているのはどれか。
1. 成人の場合は、26G針を使用する。
 2. 駆血帯は、採血部位の約10cm中枢側に巻く。
 3. 穿刺部位の少し手前から、10～20度の角度で針を刺入する。
 4. 駆血帯を外してから針を抜く。
- 問 52 経管栄養法における栄養剤注入時の体位について、正しいのはどれか。
1. 仰臥位
 2. 側臥位
 3. 半座位（ファーラー位）
 4. 半腹臥位（シムス位）
- 問 53 導尿について、正しいのはどれか。
1. 持続的導尿は、残尿測定が必要な場合に行う。
 2. 女性の場合は、膣口から尿道口に向かって消毒する。
 3. 成人男性の場合は、カテーテルを挿入する長さを、尿道口から10cmとする。
 4. カテーテルを挿入するときは、口呼吸をするように説明する。
- 問 54 浣腸について、正しいのはどれか。
1. 浣腸液は、31～32℃程度に温める。
 2. 患者の希望があれば、立位で行う。
 3. 成人の場合は、カテーテルを挿入する長さを、肛門から5cm程度とする。
 4. 浣腸液の注入速度は、15秒間で100mL程度とする。
- 問 55 気管内吸引時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 吸引圧は、20kPa（150mmHg）に調整されていることを確認する。
 2. カテーテル挿入から抜去までの時間は、30秒程度とする。
 3. 気道内で陰圧をかける時間は、10秒以内とする。
 4. 吸引後は、患者の顔色や呼吸状態を観察する。
- 問 56 腰椎穿刺を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 穿刺時は、腹臥位をとるように説明する。
 2. 無菌操作で実施する。
 3. 穿刺後は、30分間安静にした後、活動してもよいと伝える。
 4. 安静終了後は、水分摂取を制限するように伝える。

- 問 57 巻軸包帯の巻き方について、適切なのはどれか。
1. 膝関節に用いる巻き方は、らせん帯が適している。
 2. 関節を固定する際は、基本肢位を保つ。
 3. 末梢から中枢へ巻く。
 4. 包帯の結び目は、患部の上でとめる。
- 問 58 輸血の看護について、誤っているのはどれか。
1. 輸血の準備は、患者ごとにチェック項目を複数名で確認する。
 2. 血液バッグは、内容を混和せずに使用する。
 3. 専用の輸血セットを用いる。
 4. 開始5分後までは、ベッドサイドを離れずに患者の状態を観察する。
- 問 59 与薬について、正しいのはどれか。
1. 薬剤の準備は、薬剤・薬液のラベルと指示書の内容を最低2回確認する。
 2. 2種類以上の点眼薬を続けて使用する場合は、間隔を3分以上空ける。
 3. 坐薬挿入時は、右側臥位にする。
 4. バッカル錠は、飲み込まないように伝える。
- 問 60 空気（飛沫核）感染予防策として有効な防護用具はどれか。
1. サージカルマスク
 2. N95 マスク
 3. ガウン
 4. ゴーグル
- 問 61 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 内視鏡は、高圧蒸気滅菌が適している。
 2. ゴム製品は、エチレンオキサイドガス滅菌が適している。
 3. 滅菌パックされているディスポーザブル製品は、感染のリスクが低い。
 4. 滅菌器具を使用するときは、滅菌の有効期限を確認する。
- 問 62 診察時の介助について、誤っているのはどれか。
1. 診察室に迎える際は、患者の姓を呼んで確認する。
 2. 診察の目的と方法を患者に説明して了解を得る。
 3. 腹部の診察時は、仰臥位で膝を軽く曲げてもらう。
 4. 不必要な露出を避ける。
- 問 63 患者・家族の理解と援助について、誤っているのはどれか。
1. 身体的・精神的・社会的側面からアセスメントする。
 2. 同じ疾患・治療でも、患者によって受け止め方は異なる。
 3. 家族に病人が出ると、家族の役割が変化する。
 4. 健康問題が起こったときは、家族だけで対応する。

- 問 64 継続看護について、誤っているのはどれか。
1. 国際看護協会（ICN）で定義されている。
 2. 健康レベルが低下したときに限り必要となる。
 3. 個人だけでなく集団にも対応する。
 4. 医療機関内だけでなく、地域や保健機関と行う。
- 問 65 訪問看護ステーションとその役割について、誤っているのはどれか。
1. 看護師が開設できる。
 2. 地域保健法に基づき定められた施設である。
 3. 他機関や多職種間の調整を行う。
 4. ターミナルケア（看取り）を行う。
- 問 66 急性期にある患者・家族の特徴と看護について、誤っているのはどれか。
1. 患者の個別性を迅速にとらえる必要がある。
 2. バイタルサインが変化しやすい。
 3. 意識がない場合は、患者への声掛けは必要ない。
 4. 突然の発症や事故は、本人のみならず家族の動揺も大きい。
- 問 67 リハビリテーションについて、適切でないのはどれか。
1. リハビリテーションの目標には、日常生活動作（ADL）の自立も含まれる。
 2. 患者が障害を受容できるように支援する。
 3. 理学療法士などと連携を図りながら援助する。
 4. 医療機関で行われるものをいう。
- 問 68 シシリー・ソンドース（Saunders, C.）による終末期の患者が感じる全人的苦痛について、誤っているのはどれか。
1. 身体的苦痛
 2. 精神的苦痛
 3. 社会的苦痛
 4. 個人的苦痛
- 問 69 退院調整について、正しいのはどれか。
1. 退院計画の立案には、患者・家族は関わらない。
 2. 看護師だけでなく、医師・ソーシャルワーカーなどを行う。
 3. 看護要約（看護サマリー）は、病院内に限り活用する。
 4. 退院調整を行う看護師は、すべての病棟に配置するように定められている。
- 問 70 痛みのある患者の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. 痛みの感じ方の変化は、病状の進行と関連しない。
 2. 精神的援助は必要としない。
 3. 温罨法は、急性炎症による痛みの軽減には適していない。
 4. マッサージによる筋緊張の緩和は、痛みの軽減には効果がない。

- 問 71 発熱のある患者の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. その人の平常体温より、 0.5°C 以上の上昇を発熱とみなすことが多い。
 2. 安静保持に努める。
 3. 低たんぱく食の摂取を促す。
 4. 悪寒戦慄があるときは、冷却に努める。
- 問 72 ショック状態の患者の特徴と看護について、誤っているのはどれか。
1. ショック状態の患者を発見した場合は、その場を離れて直ちに人を呼びに行く。
 2. 症状には、血圧低下・頻脈・顔面蒼白・冷汗がある。
 3. 体位変換や移動は、患者の状態を観察しながら、静かに行う。
 4. 指示された薬物を速やかに準備し、確実に投与する。
- 問 73 呼吸困難のある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 酸素療法は、看護師の判断で酸素流量を調整する。
 2. 胸式呼吸を指導する。
 3. 排便コントロールを行う。
 4. 食事は、一度に多く摂取するように指導する。
- 問 74 次のうち、薬物の血中濃度の上昇が最も早いのはどれか。
1. 経口薬
 2. 坐薬
 3. 筋肉内注射
 4. 静脈内注射
- 問 75 放射線療法による放射線宿酔について、正しいのはどれか。
1. 晩発性有害反応（晩期有害事象）である。
 2. 一度起こると治らない。
 3. 全身倦怠感・嘔気・嘔吐・ふらつき・食欲不振などの症状がみられる。
 4. 皮膚の色素沈着が起こる。
- 問 76 透析療法について、正しいのはどれか。
1. 血液透析のためのシャントは、利き手の前腕につくられることが多い。
 2. 血液透析は、水分摂取を制限する必要はない。
 3. 腹膜透析は、自宅や職場など社会生活の中で行うことができる。
 4. 腹膜透析は、週に2～3回行う必要がある。
- 問 77 成人期の慢性疾患について、適切でないのはどれか。
1. 発病には、個人の生活習慣が関係していることが多い。
 2. 急性増悪しないことが、慢性疾患の特徴である。
 3. 患者だけでなく家族にとっても、生活上の大きな問題である。
 4. 食事療法などにより、服薬が不要になることがある。

- 問 78 青年期の特徴について、正しいのはどれか。
1. 精神的に安定している時期である。
 2. 摂食障害が問題となるのは、男性に多い。
 3. 15～19 歳の死因の第 1 位は、自殺である。
 4. 良心・道徳性・価値判断を発達させる時期である。
- 問 79 人工呼吸器装着中の看護について、適切でないのはどれか。
1. 人工呼吸器の設定と自発呼吸のペースが、同調しているかを観察する。
 2. 体位ドレナージによる排痰を促す。
 3. 加湿器には水道水を用いる。
 4. 意識のある患者とのコミュニケーションは、筆談や文字盤などを使用する。
- 問 80 呼吸器疾患と症状について、誤っている組合せはどれか。
1. 気胸 _____ 呼吸困難
 2. 肺結核 _____ 吐血
 3. 原発性肺がん _____ 嘔声
 4. 特発性間質性肺炎 _____ 乾性咳嗽
- 問 81 気管支喘息とその看護について、適切でないのはどれか。
1. 短時間作用性 β_2 刺激薬 (SABA) は、発作治療薬である。
 2. 呼吸困難は、夜間から早朝にかけて出現することが多い。
 3. アレルゲンを除去するために、環境調整を行う。
 4. 発作時は仰臥位にする。
- 問 82 肺血栓塞栓症 (PTE) の危険因子でないのはどれか。
1. 悪性腫瘍
 2. 心疾患
 3. 妊娠
 4. 抗凝固薬の使用
- 問 83 急性左心不全の症状はどれか。
1. 下肢の浮腫
 2. 静脈怒張
 3. 肝腫大
 4. 呼吸困難
- 問 84 循環器疾患と症状について、誤っている組合せはどれか。
1. 僧帽弁狭窄症 _____ 呼吸困難
 2. 大動脈解離 _____ 激しい背部痛
 3. 狭心症 _____ 30 分以上続く胸痛
 4. 心筋炎 _____ 発熱

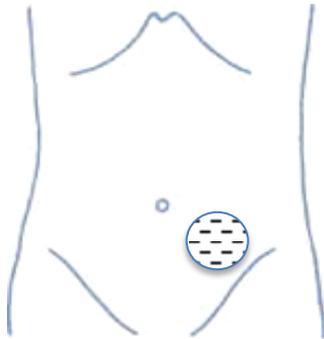
問 85 直ちに除細動を行うべき不整脈はどれか。

1. 心室細動
2. 心房細動
3. ウェンケバッハ型房室ブロック
4. 心房性期外収縮

問 86 虚血性心疾患について、適切でないのはどれか。

1. 高血圧や脂質異常症は、危険因子である。
2. 不安定狭心症の診断には、運動負荷心電図が必要である。
3. アスピリンの投与は、冠動脈の血栓形成を抑制する。
4. 急性心筋梗塞の特徴的な所見として、心電図上でSTの変化がみられる。

問 87 図の位置に持続的な強い痛みを訴えている患者について、考えられる疾患はどれか。



1. S状結腸憩室炎
2. 膵炎
3. 胆嚢炎
4. 虫垂炎

問 88 次のうち、迅速ウレアーゼ試験が有用なのはどれか。

1. 尿毒症
2. 胃潰瘍
3. 大腸がん
4. 前立腺肥大症

問 89 肝炎について、正しいのはどれか。

1. 急性肝炎の初期には、感冒様症状がみられることが多い。
2. 慢性肝炎は、肝臓の炎症が1か月以上持続した状態をいう。
3. A型肝炎の多くは、血液を介して感染する。
4. C型肝炎ウイルスに感染すると、HCV抗体は陰性になる。

問 90 胃切除術後の看護について、誤っているのはどれか。

1. 胃チューブ挿入中は、ミルクキングを行い、排液を促す。
2. 食事は、1日5～6回に分けて摂取するように指導する。
3. 食後は、30分程度仰臥位になるように勧める。
4. ダンピング症候群の有無について観察する。

- 問 91 白血病について、正しいのはどれか。
1. 急性リンパ性白血病は、成人に多い。
 2. 慢性リンパ性白血病は、日本人に多い。
 3. 急性骨髄性白血病は、成熟型の白血球が増加する。
 4. 慢性骨髄性白血病は、脾臓が腫大する。
- 問 92 貧血患者の看護について、適切なのはどれか。
1. 激しい運動を勧める。
 2. 四肢の保冷に努める。
 3. 転倒を予防する。
 4. 鉄分の摂取は控えるように説明する。
- 問 93 次のうち、正しいのはどれか。
1. 多発性筋炎・皮膚筋炎は、悪性腫瘍を合併することがある。
 2. 結節性動脈周囲炎は、毛細血管に炎症がみられる。
 3. 全身性強皮症は、関節背面にゴットロン徴候がみられる。
 4. シェーグレン症候群は、関節症状がみられない。
- 問 94 全身性エリテマトーデス（SLE）とその看護について、正しいのはどれか。
1. 男性に多く発症する。
 2. レイノー症状がみられる。
 3. 日光浴を勧める。
 4. 蝶形紅斑がある場合は、石けんで洗顔するように指導する。
- 問 95 甲状腺機能亢進症患者の観察項目について、正しいのはどれか。
1. 病的骨折の既往
 2. テタニー症状
 3. 頻脈・動悸の有無
 4. 精神活動の停滞
- 問 96 糖尿病とその看護について、正しいのはどれか。
1. 糖尿病性ケトアシドーシスは、1型糖尿病患者に多くみられる。
 2. インスリン注射に適した部位のうち、腹部は吸収速度が遅い。
 3. 食事を摂取できないときは、インスリン注射を自己判断で中止してよいと指導する。
 4. 運動は、空腹時に行うように指導する。
- 問 97 パーキンソン病患者の看護について、適切なのはどれか。
1. 自律神経障害による下痢の有無を観察する。
 2. 医師の指示時間どおり、確実に服薬するように説明する。
 3. 時間のかかる日常生活動作（ADL）は、全介助で行う。
 4. 姿勢反射障害の症状がみられる場合は、体動を制限する。

- 問 98 脳血管造影検査時の看護について、適切なのはどれか。
1. 検査直前まで、飲食は可能である。
 2. 検査後は、穿刺部位の安静は必要ない。
 3. 検査後は、末梢循環の観察を行う。
 4. 検査後は、水分摂取を控える。
- 問 99 急性腎不全患者の治療とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 食事は、高たんぱく食とする。
 2. 利尿薬が用いられる。
 3. 尿素窒素（BUN）やクレアチニン値を確認する。
 4. 塩分やカリウムの摂取を制限するように指導する。
- 問 100 尿路結石症とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 結石が尿管内に移行すると、側腹部に疝痛が起こる。
 2. 血尿はみられない。
 3. 治療法には、体外衝撃波結石破砕術がある。
 4. 1日に2L程度の飲水を促す。
- 問 101 変形性股関節症患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 体重のコントロールについて指導する。
 2. ベッド上で、大腿四頭筋の等尺性運動を行うように指導する。
 3. 杖・歩行器の使用は避けるように指導する。
 4. 人工股関節全置換術後は、脱臼を起こさないように注意する。
- 問 102 牽引療法について、誤っているのはどれか。
1. 牽引方向を確認する。
 2. 牽引中の重錘は、床から離す。
 3. 骨盤牽引は、介達牽引法の1つである。
 4. 直達牽引法は、介達牽引法に比べて牽引できる力が小さい。
- 問 103 子宮内膜の分泌期について、誤っているのはどれか。
1. 排卵後である。
 2. 子宮内膜は肥厚している。
 3. 基礎体温は低温である。
 4. 卵巣からプロゲステロンが分泌される。
- 問 104 卵管疎通性検査時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 排卵後に行う検査であることを説明する。
 2. 検査前に排泄を済ませておくように説明する。
 3. 子宮卵管造影法は、事前に造影剤によるアレルギーの有無を確認する。
 4. 卵管通気法は、肩への放散痛が起こる場合があることを説明する。

- 問 105 女性生殖器疾患患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 少量の不正性器出血のある患者に、シャワー浴を行わないように指導する。
 2. 外陰部搔痒感のある患者に、爪を短く切るように指導する。
 3. 性感染症は、パートナーと同時に治療する必要があることを説明する。
 4. 内診時には、羞恥心と緊張の軽減に努める。
- 問 106 後天性免疫不全症候群（AIDS）について、誤っているのはどれか。
1. 感染経路の1つに母子感染がある。
 2. 四類感染症である。
 3. 急性期の症状には、筋肉痛・発熱がある。
 4. 多剤併用療法により、発病や進行を抑えることができる。
- 問 107 不活化ワクチンはどれか。
1. 麻疹ワクチン
 2. 日本脳炎ワクチン
 3. 水痘ワクチン
 4. BCGワクチン
- 問 108 皮膚の悪性腫瘍はどれか。
1. 太田母斑
 2. 尋常性乾癬
 3. ボーエン病
 4. 老人性疣贅（脂漏性角化症）
- 問 109 帯状疱疹とその看護について、正しいのはどれか。
1. ヒトパピローマウイルスの感染によって起こる。
 2. 60歳以下での発生頻度が高い。
 3. 過労を避けるように指導する。
 4. 治癒後には神経痛の残存はない。
- 問 110 視力障害のある患者の歩行時の誘導方法について、適切でないのはどれか。
1. 患者の斜め後ろを歩く。
 2. 前後左右の方向や歩数などの具体的な情報を知らせる。
 3. 患者が椅子に座るまで、そばを離れない。
 4. 患者の歩調に合わせる。
- 問 111 めまいとその看護について、正しいのはどれか。
1. 精神的なストレスとの関連はない。
 2. 起き上がるときは、眼を見開いて動くように説明する。
 3. 悪心や嘔吐を伴うことがある。
 4. メニエール病は、浮動性のめまいが起こることが多い。

- 問 112 う蝕症第4度（C₄）の状態はどれか。
1. 主にエナメル質が侵されている。
 2. 象牙質まで侵されている。
 3. 歯冠の大部分が崩壊しており，根尖部に病変を伴う。
 4. 歯髓腔まで進行している。
- 問 113 コーン（Cohn, N.）の理論による高齢者の障害受容のプロセスのうち、「回復への期待」の段階はどれか。
1. 現実を認識し，落胆し，悲しむ時期
 2. 障害を受容する時期
 3. 障害が治癒するのではないかと考え，それにすぎる時期
 4. 障害とともに生きていく努力を始める時期
- 問 114 加齢に伴う変化について，正しいのはどれか。
1. 視覚の明暗順応は亢進する。
 2. 高音域の聴力は低下する。
 3. 収縮期血圧は低下する。
 4. 皮脂量は増加する。
- 問 115 平成29年（2017年）患者調査による，65歳以上の入院受療率第1位の疾患はどれか。
1. 循環器系疾患
 2. 精神及び行動の障害
 3. 新生物（腫瘍）
 4. 呼吸器系疾患
- 問 116 高齢者虐待について，正しいのはどれか。
1. 心理的虐待が最も多い。
 2. 虐待者の4割以上は，被虐待者の配偶者である。
 3. 介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）が含まれる。
 4. 身体拘束は含まれない。
- 問 117 認知症高齢者の看護について，適切でないのはどれか。
1. 入浴を拒否するときは，無理強いをしない。
 2. 物盗られ妄想がみられるときは，現実ではないと否定する。
 3. 食事に集中できる環境を整える。
 4. 口に入れると危険なものは，目の届かないところに移動する。
- 問 118 在宅看護について，誤っているのはどれか。
1. 対象は，すべての年齢層のあらゆる疾患をもつ人である。
 2. 看護を提供する場所は，療養者の居宅や施設などの生活の拠点である。
 3. 介護者は，子の配偶者が1/4を占める。
 4. 訪問看護は，かかりつけ医が作成した訪問看護指示書に基づいて行う。

- 問 119 褥瘡のある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 褥瘡発生のリスクは、ブレーデンスケールで評価する。
 2. たんぱく質の摂取を制限する。
 3. 側臥位にする場合は、60～90度の角度に調整する。
 4. 5時間に1回の体位変換を行う。
- 問 120 高齢者の手術後合併症とその予防について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 呼吸器合併症 —— 臥床安静
 - b. 循環器合併症 —— 水分出納バランスの観察
 - c. 術後せん妄 —— 面会制限
 - d. 縫合不全 —— 低栄養状態の改善
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd
- 問 121 シュトレラ (Strehler, B. L.) による老化現象の4つの基準について、誤っているのはどれか。
1. 普遍性
 2. 内在性
 3. 進行性
 4. 無害性
- 問 122 高齢者の特徴と熱中症の予防について、正しいのはどれか。
1. 体内水分量が増加する。
 2. 発汗が多い。
 3. 口渇を訴えたときだけ、水分補給を行う。
 4. 暑いと感じていなくても、エアコンなどで適切な温度・湿度を保つ。
- 問 123 高齢者の排泄機能について、誤っているのはどれか。
1. 頻尿になりやすい。
 2. 骨盤底筋群は弛緩しやすい。
 3. 腸蠕動運動は亢進することが多い。
 4. 腹圧をかけにくくなる。
- 問 124 平成30年(2018年)のわが国の高齢化率はどれか。
1. 12.2%
 2. 20.1%
 3. 28.1%
 4. 35.0%
- 問 125 高齢者の慢性心不全患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 薬の飲み忘れがないかを確認する。
 2. 水分は積極的に摂取するように指導する。
 3. 毎日の体重測定を勧める。
 4. 過度な安静は避けるように指導する。

- 問 126 角化型疥癬（ノルウェー疥癬）とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 個室管理の必要はない。
 2. クロタミトン外用薬を塗布する。
 3. ケア時には、予防衣や手袋を着用する。
 4. 衣類・寝具は、50℃以上の湯に10分間浸してから洗濯する。
- 問 127 母子保健統計の用語説明について、誤っているのはどれか。
1. 合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率から算出される。
 2. 周産期死亡とは、妊娠22週以後の死産と早期新生児死亡を合わせたものである。
 3. 新生児死亡とは、生後28日未満の死亡のことである。
 4. 妊産婦死亡とは、妊娠中または妊娠終了後満28日未満の妊娠に関連した死亡のことである。
- 問 128 分娩の経過について、正しいのはどれか。
1. 分娩が近づくと、胎動は増加する。
 2. 陣痛開始前に破水が起こることを、早期破水という。
 3. 分娩第3期は、子宮口全開大から胎児娩出までの時期をいう。
 4. 分娩後2時間は、弛緩出血など異常の出現に注意が必要である。
- 問 129 分娩の3要素について、誤っているのはどれか。
1. 産道
 2. 胎児及びその付属物
 3. 娩出力
 4. 破水
- 問 130 妊婦の保健指導について、正しいのはどれか。
1. 妊婦健康診査は、妊婦が異常を感じなければ受診しなくてよい。
 2. 妊娠中にアルコールを摂取しても、胎児への影響はない。
 3. つわりがある場合は、食べられるものを食べたいときに摂取すればよい。
 4. 妊娠中の旅行は、妊娠初期に行くときよい。
- 問 131 新生児の生理について、誤っているのはどれか。
1. 出生直後は、横隔膜の上下運動による腹式呼吸がみられる。
 2. 生後1～2日は、黒褐色または暗緑色の胎便が排泄される。
 3. 成熟児の生理的体重減少とは、出生体重の20%程度の減少がみられることである。
 4. 生理的黄疸は、生後2～3日頃に出現する。
- 問 132 妊娠高血圧症候群について、誤っているのはどれか。
1. 妊娠高血圧は、妊娠20週以降に初めて発症し、分娩後12週までに回復する。
 2. 発症を認めたら、適度な運動をするように説明する。
 3. 胎児心拍モニタリングを定期的実施する。
 4. 症状が悪化した場合は、妊娠を中断し、速やかに児を娩出させる。

- 問 133 小児のプレパレーションについて、正しいのはどれか。
1. 病気の治癒を促進する。
 2. 心理的混乱を最小限にする。
 3. 患児に、診察中は泣いてはいけないと伝える。
 4. 家族は参加しない。
- 問 134 乳児期の栄養について、正しいのはどれか。
1. 母乳栄養は、たんぱく質が不足しやすい。
 2. 離乳開始時期には、母乳やミルクを控える。
 3. 離乳は、遅くても12か月までに完了させる。
 4. はちみつは、1歳まで与えない。
- 問 135 児童虐待について、誤っているのはどれか。
1. 減少傾向にある。
 2. 要因には、核家族化・価値観の多様化がある。
 3. 虐待が疑われる児童を発見した者は、市町村・福祉事務所または児童相談所に通告しなければならない。
 4. 虐待される危険性が高い間は、児童福祉施設などに一時保護することができる。
- 問 136 小児の与薬について、正しいのはどれか。
1. 乳児の場合は、満腹時に飲ませる。
 2. ミルクや食事には混ぜない。
 3. 3歳児が飲みやすい剤形は、錠剤である。
 4. 水薬は、舌の中央に注入する。
- 問 137 小児のけいれん時の看護について、適切でないのはどれか。
1. 顔を横に向かせる。
 2. 大きな音を立てないように注意する。
 3. 室内を明るくする。
 4. 転倒や打撲に注意する。
- 問 138 川崎病の特徴とその看護について、正しいのはどれか。
1. 主に学童期に好発する。
 2. 全身の血管炎を主体とする疾患である。
 3. 口唇・口腔に症状がある場合は、絶飲食とする。
 4. 発疹がある場合は、個室管理が必要である。
- 問 139 エリクソン (Erikson, E. H.) による学童期 (児童期) の発達課題について、正しいのはどれか。
1. 自律性 対 恥と疑惑
 2. 自主性 対 罪悪感
 3. 勤勉 対 劣等感
 4. 生殖性 対 自己停滞

- 問 140 精神障害とその症状について、正しい組合せはどれか。
1. 思考の障害 ————— 妄想
 2. 知能の障害 ————— 昏迷
 3. 自我意識の障害 ————— カタレプシー（強硬症）
 4. 意欲・行動の障害 ————— 感情鈍麻
- 問 141 統合失調症について、誤っているのはどれか。
1. 発症のピークは青年期である。
 2. 幻覚は陰性症状である。
 3. 妄想型は、比較的固定した妄想が前景に出ている病型である。
 4. 破瓜型は、予測しがたく、わざとらしい言動を特徴とする病型である。
- 問 142 アルコール関連障害について、正しいのはどれか。
1. 急性アルコール中毒は、死には至らない。
 2. 病的酩酊の多くは、酩酊中の行動を記憶している。
 3. 振戦せん妄は、小動物幻視がみられる。
 4. コルサコフ症候群の主症状は、振戦である。
- 問 143 てんかん発作について、意識障害を伴わないのはどれか。
1. 強直間代発作
 2. 欠神発作
 3. 単純部分発作
 4. 複雑部分発作
- 問 144 ペプロウ（Pepplau, H. E.）による患者－看護師関係の4つの局面（段階）について、誤っているのはどれか。
1. 傾聴
 2. 同一化
 3. 開拓利用
 4. 問題解決
- 問 145 抗精神病薬の直接的な副作用でないのはどれか。
1. パーキンソン症候群
 2. アカシジア
 3. 遅発性ジスキネジア
 4. 過換気症候群
- 問 146 精神科病院における入院中の行動制限について、正しいのはどれか。
1. 患者の生命に危険が及ぶ場合は、看護師の判断で身体的拘束を行う。
 2. すべての面会を制限する。
 3. 電話機は、患者が自由に利用できるような場所に設置する。
 4. 信書（手紙）は、必ず主治医が確認してから患者に渡す。

- 問 147 精神科病院における入院中のリスクマネジメントについて、正しいのはどれか。
1. 措置入院中の患者が無断離院した場合は、病院管理者が警察署に届け出る。
 2. 抑うつ状態からの回復期にある患者は、自殺を企図するリスクが低い。
 3. 入院患者へのインフルエンザの予防接種は行わない。
 4. 入院患者の外出・外泊は、どのような場合も認めない。
- 問 148 精神保健福祉法で定められている入院形態のうち、患者本人の同意に基づく入院はどれか。
1. 任意入院
 2. 措置入院
 3. 医療保護入院
 4. 応急入院
- 問 149 躁状態の患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 看護者の意図に従うように説得する。
 2. 逸脱した行動に対しては、社会的信頼を失わないように配慮する。
 3. 重度の場合は、1回の訪室時に関わる時間を長くする。
 4. 重度の場合は、積極的に運動やレクリエーション活動への参加を促す。
- 問 150 社会復帰リハビリテーションで、次の文章の（ ）にあてはまるものはどれか。
- <文章>
- 日常生活を円滑に行うことができるように様々な場面を設定し、相互に励まし合いながら一定の生活行動が可能となるようにコミュニケーションの技能を学ぶ治療法は（ ）である。
1. レクリエーション療法
 2. 社会生活技能訓練（SST）
 3. 作業療法
 4. 自律訓練法